

アンケート集計



クリエイション・プログラム 「EAT&ART TARO 動く石」 p.1-p.4

クリエイション・プログラム 「ならのまちと創る演劇」

出演者&クリエイションスタッフ アンケート p.5-p.8

クリエイション・プログラム 「ならのまちと創る演劇」

観覧者 アンケート p.9-p.11

ラーニング・プログラム「グリーン・マウンテン・カレッジ」 p.13-p.15

ラーニング・プログラム「平田オリザの表現ワークショップ」 p.17-p.21

「EAT&ART TARO 動く石」参加者アンケート *Web		アンケート合計：	38
◎日時：令和2(2020)年12月11日(金)ー12月20日(日) 10時ー16時		◎場所：鶴の茶屋	参加者合計：709名

「石の菓子店」鶴の茶屋（実店舗）	参加：677名	石の交換：359名	アンケート回答：38 (回答率：5%)
「石の菓子店」オンライン（12月20日）	参加：32名		

Q1 年代：

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
2	4	6	8	12	4	2	0	0
5%	11%	16%	21%	32%	11%	5%	0%	

Q2 性別：

男性	8	21%
女性	30	79%
その他・ <input type="checkbox"/> 回答	0	0%
未記入	0	

Q3 居住：

市内	県内	県外	未記入
14	12	12	0
37%	32%	32%	

Q4 居住地：

県内	天理市4、橿原市2、生駒市、五條市、平群町、上牧町各1
県外	大阪4、京都、石川各2、兵庫、愛知、神奈川、長崎各1

Q5 宿泊：

宿泊する	宿泊しない	未記入
6	32	0
16%	84%	

⇒宿泊する方居住地内訳：石川、愛知、神奈川、京都、大阪

Q6 職業：

会社員	7	18%
公務員	2	5%
自営業	6	16%
会社役員	1	3%
自由業	3	8%

家事専業	3	8%
学生	6	16%
パート・ <input checked="" type="checkbox"/> バイト	7	18%
無職	2	5%
その他	1	3%
未記入	0	

Q7 普段、美術館やアートイベントにはよく行かれますか：

よく行く	16	42%	①②計：美術ファン 37名 / 97%
たまに行く	21	55%	
あまり行かない	1	3%	
全く行かない	0	0%	
未記入	0		

Q8 本日参加のきっかけは：

情報を得て来た	37	97%
たまたま通りかかった	1	3%
未記入	0	

Q9 開催情報は事前にご存知でしたか（複数回答3つまで）：

しみんだより	1	2%	インスタグラム	4	7%
チラシ	5	9%	メールニュース	1	2%
口コミ	21	38%	新聞	1	2%
公式HP	8	15%	タウン誌・情報誌	0	0%
フェイスブック	5	9%	テレビ・ラジオ	0	0%
ツイッター	8	15%	その他	1	2%
			未記入	1	

Q10 本日参加されていかがでしたか：

大変良かった	25	66%	①②計：肯定的
良かった	12	32%	37名 / 97%
どちらともいえない	1	3%	③④⑤計：否定的
あまり良くなかった	0	0%	
良くなかった	0	0%	1名 / 3%
未記入	0		

⇒「どちらとも」回答者：No.4286市内女子学生、情報を得て来たが普段アートイベントにはあまり行かず、他の回答にも否定的

Q11 このイベントを誰かに勧めたいと思われませんか：

とても勧めたい	17	45%	①②計：肯定的
勧めたい	19	50%	36名 / 95%
どちらともいえない	2	5%	③④⑤計：否定的
あまり勧めたくない	0	0%	
勧めたくない	0	0%	2名 / 5%
未記入	0		

⇒「どちらとも」回答者：No.4286市内女子学生

Q12 同様のイベントに再度参加したいと思われませんか：

とても思う	19	50%	①②計：肯定的
思う	18	47%	37名 / 97%
どちらともいえない	0	0%	③④⑤計：否定的
あまり思わない	1	3%	
思わない	0	0%	1名 / 3%
未記入	0		

⇒「あまり思わない」回答者：No.4286市内女子学生

Q13 このイベントは参加者が主体的に参加できるものと思いませんか：

とても思う	14	37%	①②計：肯定的
思う	21	55%	35名 / 92%
どちらともいえない	2	5%	③④⑤計：否定的
あまり思わない	1	3%	
思わない	0	0%	3名 / 8%
未記入	0		

⇒「あまり思わない」回答者：No.4286市内女子学生

Q14 「古都祝奈良」をご存知でしたか：

参加した	13	34%	①②計：認知
知っていたが参加したことはない	11	29%	24名 / 63%
知らなかった	14	37%	
未記入	0		

Q15 その他ご意見・ご感想があればお聞きください：

整理番号		* 記述19件全て
4180	50代女	今回の古都祝奈良も楽しみにしてました。奈良市がアートで面白い取り組みをしていることをうらやましく感じます。未長く続いて欲しいです。
4181	50代男	石の記憶は旅の思い出とともにある。なので、持っていく石選びが難航した。石との出会い以前に、その石自身の時間がある。それこそ何万年、何千万年…途方もない時間がある。会場には石が並び、色んな時間が交差する。その場として、趣ある茶屋は相性がいい。都市にある美術館やギャラリーではこうはいかなかったのではないかな。石に模した菓子を身体に通すことで、私が毎日している食事という行為は時間を食べてることなのだと気づきました。
4202	50代女	奈良市内が会場になっているイベントには何度か参加しました。今回、石の菓子店はオンライン参加も出来るとの事、面白い試みだと思います。コロナ収束後でも遠方の人も参加出来て良いと思います。
4214	20代女	パンフレット、メニューがとても素敵。空間もいい。石を置く台がちょっと複雑さがあっていい。
4222	70代女	今年は、おん祭りも縮小され、人手も少なく、残念でしたね。頂いたお菓子は美味しかったです。店内は、入りにくかったです。趣旨がわかりにくく、長居する場所ではない感じで。照明も暗いし。全世代対象という感じではないかな？奈良との繋がりとは？
4226	60代男	古都祝奈良としてのコンセプトの統一感があまり感じられなく、単発が続く感じが有り、リピーターを作れるのか??? また、奈良市としての一体感や、市民をもっと巻き込む感にも乏しく、盛り上がり欠けていると感じる。それぞれに、興味深いイベントだと感じてるだけに、少々、残念にも思います。
4228	50代女	斬新な取り組みだと思いました。
4234	50代女	一つの石だけど、いろんなエピソードがあって、面白いと思います。
4247	50代女	素敵なディスプレイで見やすく、ゆっくり拝見できました。スタッフの方々の対応も素晴らしく、気持ちいい時間を過ごせました。また頂いたお菓子も丁寧に梱包されていて、無料で恐縮です。石を見ながらいろんなそれぞれの思い出や、土地に想いを馳せるコトが出来て楽しかったです。素敵なイベントでした。
4248	60代女	たくさんの石がみれて楽しかった。
4262	50代女	とても美味しかった♪色々な石が綺麗だった(^-^)
4264	40代女	個別の持ち寄られた石が展示されているのも、一人ひとりの思いが詰まっていると考えると、何だか静かな石だけにとても不思議な感じがしました。また、展示している台や、丸い穴の開いたお菓子の引換所等の雰囲気も面白く、そして、何より石とお菓子を引き換えという今までにない貴重な体験でした。ありがとうございました。
4265	20代男	素敵な試みだと思いました。
4266	20代女	また参加したいです。次は石川の石を持ってきたいです
4269	40代男	もっと情報を発信して欲しいです。
4272	40代女	タイトルだけを聞くと、何かな？と思いましたが、石が動く理由がわかるととても納得でした。小学生の娘とお邪魔しましたが、石を選ぶ時間から真剣で、参加した満足感がしっかり得られたようです。
4275	40代男	動く石店舗VIデザインの川路あずささんのご紹介で参加いたしました。20日の動く石zoomライブに参加させて頂きました。EAT&ART TAROさんの今回の作品のコンセプト説明がとても興味深く、共感いたしました。今回はコロナ状況下で郵送で石とお菓子を交換したり、zoom参加したりする、工夫を凝らされていたので県外から自宅から子供達&猫と参加することができました。自分の石を価値として肯定してくれたり、展示してくれたり、お菓子と交換してくれたり、というやり取り自体がとても楽しかったです！ありがとうございました。
4283	40代男	最初の古都祝奈良は大変良かったのですが、その後の活動はあまり伝わってきませんでした。奈良市内でのアートイベント、今後も楽しみにしています。
4323	50代女	とても素晴らしい内容なのに、告知が少なく、アート関係者ですらこの事業を知らない。もったいないので広報経費を次年度以降増やして、伝えることにもつとめてもらいたい。

Q16 今後、奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」の情報の提供を希望されるますか：

希望する	13	34%
希望しない(未記入)	25	66%

以上



「ならのまちと創る演劇」出演者&クリエイションスタッフ アンケート *Web	アンケート回収：	17
◎日時：令和2(2020)年 ①エピソード募集 9月-10月 ②出演者募集10月-11月 ③観覧者募集11月-12月 ④本公演 12月26日(土)	アンケート依頼：	18
◎場所：●稽古/オンライン,ならまちセンター,音声館,中部公民館 ●本公演/ならまちセンター 市民ホール		

【演劇参加者】

年代：	オーディション	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明	計
(※公演当時)	参加者	8	2	2	3	1	2	2	20
	全体	40%	10%	10%	15%	5%	10%	10%	100%
	出演者	5	1	1	3		1	1	12
		42%	8%	8%	25%		8%	8%	100%

クリエイション	10代	20代	30代					計
スタッフ	2	4	1					7
	29%	57%	14%					100%

		市外						
出演者居住地：	オーディション	奈良市	大和郡山市	生駒市	大和高田市	葛城市	生駒郡	計
	参加者	13	2	2	1	1	1	20
	全体	65%	10%	10%	5%	5%	5%	100%
	出演者	奈良市内	大和郡山市	生駒市		葛城市		計
		7	2	2		1		12
		58%	17%	17%		8%		100%

【アンケート回答】 *抜粋

属性	Q1, 舞台公演という大きなチャレンジをやり終えた今の感想は？
40代女性	なかなか足を引っ張ってしまい申し訳なさには否めませんが、単純に出来ない自分への苛立ちも含めて楽しかったです。若い子達の「今」しかないキラキラしたものに触れる事が出来たのが宝物です。全く知り合いのいない現場に飛び込んだつもりでしたが、オーディションで見つけた役者さんが居たりでお互い恥ずかしかったり、いつもお世話になってる舞監さんだったり嬉しいビックリもたくさんあったりで濃い日々を過ごせました。でも1番良かった事は、田上さんとペレイラさんの創る世界に置いて貰えた事です。またチャンスが許されれば「奈良での生活」を軸にした舞台に参加したいです。
40代男性	お世話になりました。ありがとうございました。感想ですが、まずは非常に楽しかったです。また刺激になる事が多く本当に良い思い出になりました。普段から舞台公演は経験していますがまた違った余韻に浸っています。
10代男性	今回は年齢が離れている方々がいて、刺激が多く去年よりもレベルアップに繋がり楽しめた。
60代女性	コロナ禍の中、公演をできたことが嬉しかったです。短期間でハードなスケジュールでの創作でしたが、若い人達からパワーをいただき、モチベーションもあがりました。出演者としてクリエイションに参加できたこと、このプロジェクトで出会った方々、応援して下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。
10代女性	大きなチャレンジでしたが皆さんにとっても支えられたので乗り越えることができ全然苦ではなかったです。今はただただ嬉しくて楽しくて幸せです。これも裏方の方々と出演者の方々、そして見に来ていただいた観客の皆様のおかげだと思っています。感謝の気持ちでいっぱいです。
10代女性	非常に満足しています。コロナ禍でも挑戦出来る事があると気づき、ならの舞台を最後までやり切れた事で、将来をポジティブに捉えられるようになりました。このような機会を設けていただけた事にとっても感謝しています。

Q1, 舞台公演という大きなチャレンジをやり終えた今の感想は？/つづき

20代女性	これまで見るものやった演劇に自分が出演させて頂いたこと、今考えても夢やったのかなと思うくらい、貴重で新鮮な経験でした。たくさんの方に助けて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。
10代女性	初めてスタッフとしてお手伝いさせて頂いたのですが、普段舞台から見る景色とまた違った景色を見れてとても楽しかったです。
20代女性	今回は裏方で参加でしたので、公演が終わった後は「面白かったな」と客としての感想が出てきました。出演者だったときは「明日からならまちセンターに行って稽古する事はないんだな。終わってほしくないな」と本番が終わってから皆で言い合っていた事を思い出しました。「もう高校生じゃないからこれからは観る側に回るのか」と少し寂しい気持ちだったのですが、まさかまた作る側として奈良の演劇に関わる事が出来るとは思っていなかったので、出演者とは違う貴重な体験ができとても楽しい時間を過ごす事が出来ました。
20代女性	最も大きかったのは、一つの作品を完成させたという喜びです。コロナ禍での短期間の稽古という今まで経験したことのない厳しい条件の中で3作品を完成させることができたという達成感も相まって、公演後の嬉しさはこれまで以上のものとなりました。その一方で演者・スタッフの皆さんとのクリエイションが名残惜しい、もっと長期間稽古ができたらなという気持ちにもなりました。特に稽古最終日にフィードバックを送った時、これで最後のフィードバックかと思うととても寂しかったです。

属性

Q2, 本事業への参加を通じて、あなた自身の成長や変化を感じましたか？

10代女性	自分のやってきたことは間違っていなかったのだと肯定されたような気持ちになったと同時に、改めて本気でやる人の姿というものを学ばせてもらいました。
40代女性	舞台に参加するとなると規模の大小関わらず、生活の大半の気持ちを舞台に持っていく事になります。しかし家族の用事だったり生業の仕事だったり、なかなか「舞台」だけに集中するという事は出来ない立場上バランスをとるのが年々難しいと感じています。しかし今回の舞台で「文化」面で街を活性化し生活を豊かにしようとする職員さん方や、日本のあちこちで活躍される舞台人、そして煌めく卵達、年齢層の広い魅力的なキャストに出会えた事は今回の1番の私の収穫であり宝です。
10代男性	演技にも様々な作り方があることを知り、それを試してみるなどして成長したと思う。演劇を見る目を強化することができた。
40代女性	一つの物事に対し、ただ粛々と取り組む高校生や大学生の姿に大きな刺激を受け、彼らとともに立ち向かおうという気を持てたことは、私にとって大きな変化でした。
10代女性	確実に感じました。企画に参加しようと思った時、自粛や在宅期間で、コミュニケーションが希薄になっているからこそ、この舞台では率先してメンバー同士の輪を広げる事を目標にしようと思い臨みました。勇気を持って飛び込んでみたら年齢や肩書きに関係なく暖かく受け入れていただき、とても嬉しかったです。自信に繋がりました。
20代女性	オーディションの際にからだの使い方や声の張り方がお上手なばかりで、どうしようかと思っていましたがご一緒に学ぶことが多かったです。普段は違うところでお芝居している人たちが集まっているのでそれぞれのお芝居の仕方や特徴があって、新鮮さも強く影響されました。

Q2、本事業への参加を通じて、あなた自身の成長や変化を感じましたか？/つづき

20代女性	時間に制約があるなかで3作品を完成させている様子や、今年演劇がイベントとしてそもそも開催できたことがすごいことだと思ったので、演劇プログラムの開催の経緯や、オンラインでの稽古の様子を伝えることが難しかったです。パンフレットと一言に言ってもレイアウトや誰にインタビューするかなど一人ではできなかったかもと実感しました。話し合っって内容を考えて試行錯誤したことで文章表現力や伝える力がついたと思います。
20代女性	(自身の成長を)感じました。演出家と役者の方々との意思疎通が円滑になるように、練習がスムーズにできるようにはどうしたら良いかということを考えながら、活動できたので、これは成長だと思います。
10代女性	スタッフ側だったこともあり、中学生で参加した時よりも楽しみつつお仕事！という気持ちが強かったです。これは決して悪いことではなく身が引き締まる想いだったという意味で、自分自身ちょっと大人になったなあと感じた期間でした。

属性

Q3、あなたが思う演劇創作の魅力とはどんなところですか？

10代女性	個性が消されていく世の中で、舞台上では何者にでもなれるという点だと思います。
40代男性	たくさんあると思います。戯曲を読んで幾通りもある答えから、おかしなく面白くなるであろう演技プランを選んでいく過程。決めたプランをいかに確度高く演じれるか、それがどうしたらわざとらしくならないか等の演技の奥深さや共演者とのチームワーク。世の中で役に立たなかつたり不利な個性が舞台では武器に出来て輝ける機会が得られる事。作演出目線では自分の一番好きな世界を構築できる事。それがお客様に評価してもらえる事。座組と真剣に向き合う事から生まれる新しい人間関係等でしょうか。
10代女性	自分では見つけられなかった自分を発掘して行ける場所。
10代男性	全員が同じ方向に向いて努力しているが何か違うところがある、でも最終的に完成したら全員が繋がる。そこが魅力だと思う。
10代女性	今回は特に、普段一緒になることのない世代の方々とお芝居をさせていただいて、演劇に年齢は関係ないのだなと強く感じました。確かに技量や経験の面では私は皆さんより劣りますが、演劇を通して幅広い世代の方々と仲良くさせていただいて一緒に作品を作り上げたという経験はとても良いものだったと思っています。演劇創作の魅力は、1人ではなく、裏方もキャストも一丸となって一つのものを創り上げることができる場所だと思います。
20代女性	見てくれる人にもっと、もっと楽しんでほしい！という全員の思いが集まって1つの作品となっていることが身に染みてわかり、演劇の世界はおもてなしにも繋がる場所があるんやと感じました。
20代女性	多くの人が演劇というひとつのものを通じてつながることができることです。また、作品を通してあるテーマを他の人に間接的に伝えられることです。直接的にいうのではなく、劇を通してテーマをあんにつたえられるのは演劇の魅力だと思います。経験を見ている人も共有できる点も魅力だと思います。
20代女性	今回の作品で初めて会った人同士でも一緒に協力し合う事で絆が出来る所だと思います。私も以前一緒に出演した人達の何人かと連絡を取ったりしていますが、友達というよりは一緒に頑張った仲間という認識を持っています。初めはお互いどんな人なのか分からないけど作品では仲が良かったり悪かったりという設定があります。だから昔からの友達のように振舞わないといけないし、実際にここはどんな動きをした方がいいかな？と話し合っている内に自然と皆と打ち解ける事が出来ました。演劇というのはたとえ短い時間でもお互いの絆を作る事が出来る場所だと私は思っています。
20代女性	私が思う演劇の魅力は公演中だけではなく稽古中も含めての臨場感だと思います。稽古中から本番まで同じものは絶対に生まれにくいところや、同じ脚本でも演者が変われば全く違うものになるところは演劇特有のものではないでしょうか。私は演劇に関わる度に改めて、日々成長し変化する様子から"演劇は生き物だ"と感じます。たった一度一緒に演劇をした座組のみんなとは特別な絆で結ばれるような感覚も演劇の持つ力であり魅力だと思います。

属性	Q4, 今回の経験は、今後、どのようなことに活かされると思いますか？
10代女性	まず今後も演劇を続けたいという気持ちを固めることができました。また、演劇をする上でどのようなことが必要なかなど具体的なことも学ばせてもらったので今後演劇をする上で活かしていきたいと思います。
40代女性	今回、おん祭が題材の一つにありましたが、おん祭での若宮さんへの芝奉納が「お芝居」の語源発祥と聞いていたのでやっと春日大社のお膝元の地でお芝居出来た事に感動しています。他の地で演劇活動を続けていく中で、またこの地で演劇に関われるチャンスがあれば挑んでいきたいと思います。また、昨年、一条高校演劇部にアドバイザーとして関わらせて頂きましたが、今年はコロナの影響でそれが叶わず、少しの後押しで劇的に変化する豊かな高校生のお手伝いができれば良いなあと思います。
10代男性	コロナウイルスで先の見えない中、演劇、エンタメ業界のさきがけとなる光のようになればと思います。
10代女性	私はこれからもずっと演劇を続けたいと思っています。オーディションを受けさせていただいたのも、自分の演技を磨きたいと思ったことがきっかけです。けれども思ってた以上に、演劇のことだけではなくコミュニケーションの大切さやスタッフの方々がしっかりと支えてくださっている心強さなど様々なことを学びました。だから今回の経験を、演劇を続ける上で、さらに自分が何かの裏方にまわってサポートする側になった時に活かしていきます。
10代女性	この春私は高校を卒業します。人生の大きな転機にある今、行動力のある人達に囲まれた環境で大好きな演劇に没頭し、色んな価値観に触れ、共に悩み、時には感動し、短期間ではありましたが、濃密な日々を送る事が出来ました。どんな状況下でも情熱と行動力を持った人間に成長していきたいと思いました。
20代女性	作品ができるまでにたくさんのお力があること、そしてもっともっと楽しんでほしい！という熱い気持ちは見ていて伝わってくると感じたので、これからの踊りの舞台などでこの経験を思い出して感謝の気持ちを持って頑張りたいです。
20代女性	この経験はこれから表現をする機会であったり、伝えたい内容をより魅力的に相手に伝える機会に役立つと思います。大学の授業だけでなく、社会人になった後も資料作りで活かしていきたいです。
20代女性	今回の経験は、今注目して勉強している観光振興についての学びにいかせるとしています。
20代女性	今回の経験で演出助手として演劇に関わることの楽しさとやりがいを得たので、大学で演劇を学んでいるわけでも劇団に入っているわけでもありませんが、演劇に関わり続けられたらと思います。できればこの企画にまた参加できる日が来るといいなと思っています。個人的には、今回の経験と成長できたことを糧にして自分の将来の夢に向かって進みたいと思います。

以上



「ならのまちと創る演劇」公演観覧者アンケート *Web		アンケート合計：	14
◎日時：令和2(2020)年12月26日(土) 14時開演(上演約70分) ◎場所：ならまちセンター 市民ホール		観覧合計：86名 (回答率：16%)	

Q1 年代：

申込代表者 (93名)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
	18	4	10	14	20	18	9	0	0
	19%	4%	11%	15%	22%	19%	10%	0%	
アンケート 回答者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
	3	1	3	3	2	2	0	0	0
	21%	7%	21%	21%	14%	14%	0%	0%	

Q2 性別：

男性	5	36%
女性	9	64%
その他・☒回答	0	0%
未記入	0	

Q3 居住：

申込代表者 (93名)	市内	県内	県外	未記入
	50	24	19	0
	54%	26%	20%	
アンケート 回答者	市内	県内	県外	未記入
	5	4	5	0
	36%	29%	36%	

Q4 居住地：

県内	生駒市5、大和郡山市5、葛城市4、橿原市2 王寺町2、上牧町2、桜井市、斑鳩町 他各1
	大阪9、京都7、兵庫2、東京1
県外	大和郡山市3、王寺町1 京都3、東京1

Q5 宿泊：

宿泊する	宿泊しない	未記入
1	11	2
8%	92%	

Q6 職業：

会社員	2	14%
公務員	4	29%
自営業	0	0%
会社役員	0	0%
自由業	0	0%

家事専業	3	21%
学生	3	21%
パート・☒バイト	1	7%
無職	1	7%
その他	0	0%
未記入	0	

Q7 普段、観劇には行かれますか：

よく行く	2	14%	①②計：演劇ファン 9名 / 64%
たまに行く	7	50%	
あまり行かない	5	36%	
全く行かない	0	0%	
未記入	0		

Q8 本日参加のきっかけは：

情報を知って興味を持った	4	29%
脚本・演出に興味があった	0	0%
出演者・スタッフ等から誘われた	4	29%
出演者・スタッフの家族	2	14%
その他	4	29%
未記入	0	

Q9 開催情報は事前にご存知でしたか（複数回答3つまで）：

	申込代表者（93名）		アンケート回答者			申込代表者（93名）		アンケート回答者	
しみんだより	18	17%	1	4%	インスタグラム	2	2%	2	7%
チラシ	20	19%	5	19%	メールニュース	0	0%	0	0%
口コミ	0	0%	7	26%	新聞	0	0%	0	0%
公式HP	9	9%	4	15%	タウン誌・情報誌	0	0%	0	0%
フェイスブック	4	4%	2	7%	テレビ・ラジオ	0	0%	0	0%
ツイッター	21	20%	5	19%	その他	31	30%	1	4%
					未記入	9		0	

Q10 本日参加されていかがでしたか：

大変良かった	12	86%	①②計：肯定的
良かった	2	14%	14名 / 100%
どちらともいえない	0	0%	③④⑤計：否定的
あまり良くなかった	0	0%	
良くなかった	0	0%	0名 / 0%
未記入	0		

Q11 このイベントを誰かに勧めたいと思われませんか：

とても勧めたい	6	43%	①②計：肯定的
勧めたい	8	57%	14名 / 100%
どちらともいえない	0	0%	③④⑤計：否定的
あまり勧めたくない	0	0%	
勧めたくない	0	0%	0名 / 0%
未記入	0		

Q12 同様のイベントに再度参加したいと思われませんか：

とても思う	8	57%	①②計：肯定的
思う	5	36%	13名 / 93%
どちらともいえない	0	0%	③④⑤計：否定的
あまり思わない	0	0%	
思わない	1	7%	1名 / 7%
未記入	0		⇒「思わない」回答：30代公務員男「出演者・スタッフから誘われて」観覧

Q13 「古都祝奈良」をご存知でしたか：

参加した	5	36%	①②計：認知
知っていたが参加したことはない	4	29%	9名 / 64%
知らなかった	5	36%	
未記入	0		

Q14 その他ご意見・ご感想があればお聞きください：

整理番号	* 記述8件全て	
4519	30代女	無事、公演が行われたこと自体が、とても良かったなと思いました。三本の短編とは聞いていましたが、三本とも田上さんの作演出ではなく一本はペレイラさんの作演出だったので、そのことを事前になんらかの形で広報して欲しかったです。ペレイラさんの作品が好きなので、余計にチラシ等に載っていないのが残念でした。
4521	50代女	演劇経験の有無は関係なくオーディションの門戸が開かれプロの指導が受けられること、また、一般の方々からの奈良ならではの話をもとに脚本が創られること、とても暖かく感じました。
4522	40代女	家族が出演していたので見に行かせてもらいました。期間は短かったですが毎日遅くまで本当によく頑張っていたので、今日の公演の日を迎えられて心から良かったと思っています。見るまでは少し参観日？子供の発表会？気分だったのですが、涙がでるほど面白くてマスクの中で大笑いでした。とても楽しい時間を過ごせました。親子共々、貴重な体験をさせてもらい、ありがとうございます。
4523	30代女	初めて観劇させて頂きました。この状況下で、皆さんの練習の成果を感じました。どの作品も面白く、時間があっという間でした。演出がとても良かったです。田上豊さんの作品により興味をもち、早速twitterをフォローしてしまいました。このような機会を市民に開いて頂き、奈良の運動に感謝致します。出演者の皆様、スタッフの皆様、ありがとうございました。今後も続いていきますように。
4541	60代女	このコロナで開催もどうか心配でした。来てよかったです。今の時代にあったお芝居で内容も皆さんの熱意が伝わってきました。楽しませてもらいました。
4548	60代女	東アジア文化都市2016を契機に始まった演劇プログラム、気付けば早5年目。毎回観覧していますが、このプログラムは「と」に意味があると思います。プロの演劇ならば本番が全てであり、最近は色々とメイキングビデオ等が公開されますが、私はプロは舞台裏を見せるべきではないと思っています。でもこのプログラムは過程にこそ意味があり、それを発信することにこのプログラムの意義があると思っています。それが今まで取り組んできた青少年「と」そして今年のならのまち「と」だと思っています。奈良市が何故このプログラムに取り組んでいるのかを、過程を通じて発信することによって市民の皆さんに理解していただくことが、このプログラムを継続していくために必要なことだと思います。今回の作品は出演者の実力者揃いで、見応えあるものでしたが、この演劇を彼ら「と」どのように作ったのかも知りたいと思いました。今年は特にコロナの影響で色々な制約を受けての開催であり、主催者のご苦労も如何ばかりであったかとお察し申し上げますが、来年度以降は「と」の意味を発信していただけたらなあと思いました。なおインタビューで、今までのプログラムの参加者が色々な形で参加してくれていたことを知り、嬉しく思いました。
4556	10代女	この「ならのまちと創る演劇」の、オーディションを今回初めて受けて、残念ながら合格は出来ませんでした。今回舞台を見させてもらいました。それぞれの役がとても面白くて、どのお話もよかったです。来年はまたオーディションを受けて合格したいとおもいました。
4600	10代女	練習時間の確保や練習に制限があったと聞いていましたが、面白く完成度もとても高く驚きました。たくさんふふっと笑ってしまいました。またぜひ観に行きたいです。

Q15 今後、奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」の情報の提供を希望されるますか：

希望する	5	36%
希望しない(未記入)	9	64%



『グリーン・マウンテン・カレッジ』〔全3回中2回〕参加者アンケート		アンケート回収合計：	20
◎日時：令和2(2020)年11月15日(日)ー12月13日(日) 18時ー20時 ◎場所：ならまちセンター芝生広場		参加者合計：	73名

1 「共に食す」 上田 假奈代 (詩人・詩業家) × 小山田 徹	11/15(日)	回収：10枚	参加：43名
2 「拡大食卓」 鷺田 清一 (哲学者) × 小山田 徹 ※ゲストはリモート出演	11/29(日)	回収：10枚	参加：30名
3 「握り石」 EAT&ART TARO (アーティスト) × 西尾 美也 (美術プログラムディレクター) × 小山田 徹 ※開催中止、一般参加者無しでたき火を囲む1時間の鼎談を後日HP公開	12/13(日)	回収：0枚※	参加：0名※

(1) 年代：

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未記入
2	7	3	6	1	0	1	0	0
10%	35%	15%	30%	5%	0%	5%	0%	

(2) 性別：

男性	4	20%
女性	16	80%
その他・☒回答	0	0%
未記入	0	

(3) 居住：

市内	市外	県外	未記入
11	3	6	0
55%	15%	30%	

⇒市外内訳：大和郡山市、橿原市、王寺町 各1
⇒県外内訳：京都3、大阪2、兵庫1

(4) 宿泊：【ご旅行の方のみご回答ください】

①宿泊する	②宿泊しない	未記入
0	7	13
0%	100%	

⇒未記入：市内在住者9、王寺町、京都 各1

(5) 職業：

①会社員	3	15%	⑦学生 高校生	0	0%
②公務員	4	20%	⑦学生 中学生	1	5%
③自営業	1	5%	⑦学生 小学生	0	0%
④会社役員	0	0%	⑧パート・☒バイト	0	0%
⑤自由業	0	0%	⑨無職	3	15%
⑥家事専業	2	10%	⑩その他	0	0%
⑦学生 大学等	6	30%	未記入	0	

(6) 普段、美術館やアートイベントにはよく行かれますか：

①よく行く	4	20%	①②計：美術ファン 17名 / 85%
②たまに行く	13	65%	
③あまり行かない	2	10%	
④全く行かない	1	5%	
未記入	0		

(7) 本日参加のきっかけは：

①たまたま通り掛かった	1	5%
②情報を得て来た	19	95%
未記入	0	

(8) 開催情報は事前にご存知でしたか（複数回答3つまで）：

①しみんだより	4	16%
②チラシ	4	16%
③口コミ	4	16%
④公式HP	1	4%
⑤フェイスブック	5	20%
⑥ツイッター	3	12%

⑦インスタグラム	0	0%
⑧メールニュース	1	4%
⑨新聞	1	4%
⑩タウン誌・情報誌	0	0%
⑪テレビ・ラジオ	0	0%
⑫その他	2	8%
未記入	1	

⇒その他内訳：第1回参加者/親について来た(10代女)
第2回参加者/未記述

(9) 本日参加されていかがでしたか：

①大変良かった	10	50%	①②計：肯定的 19名 / 95%
②良かった	9	45%	
③どちらともいえない	1	5%	③④⑤計：否定的 1名 / 5%
④あまり良くなかった	0	0%	
⑤良くなかった	0	0%	
未記入	0		

⇒「どちらとも」回答者：第1回参加者/会社員(40代男)

理由/遅く来たので、感想欄/今年も来ましたよ、と回答

理由：◎記述合計：9件（第1回4件、第2回5件）

整理番号		①大変良かった		* 記述 5 件全て
1 「共に食す」	①-5	10代女	暖かいたき火に当たって、勉強になるお話を聞けたから。	
	①-8	40代女	参加しやすい雰囲気だった。	
2 「拡大食卓」	②-2	20代女	鷺田さんのお話が聞いて良かったです。	
	②-4	20代女	色んな人と話すことができ、自分のためになったし、楽しかったから。	
	②-5	30代女	物事を共有するというのを改めて考えるきっかけになりました。	
整理番号		②良かった		* 記述 3 件全て
1 「共に食す」	①-3	30代女	テントで子供が楽しんでいたので。	
2 「 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大食卓」	②-3	20代女	たき火が新鮮でした。	
		②-9	20代男	共食による良い面と悪い面。
整理番号		③どちらともいえない		* 記述 1 件全て
1 「共に食す」	①-6	40代男	遅く来たので。	

(10) このイベントを誰かに勧めたいと思われませんか：

①とても勧めたい	5	26%	①②計：肯定的 16名 / 84%
②勧めたい	11	58%	
③どちらともいえない	3	16%	③④⑤計：否定的 3名 / 16%
④あまり勧めたくない	0	0%	
⑤勧めたくない	0	0%	
未記入	1		⇒「どちらとも」回答：いずれも第1回参加者

遅く来た(40代男)、親について来た(10代女)、記述なし(大阪50代女)

(11) 同様のイベントに再度参加したいと思われませんか：

①とても思う	7	35%	①②計：肯定的 18名 / 90%
②思う	11	55%	
③どちらともいえない	2	10%	③④⑤計：否定的 2名 / 10%
④あまり思わない	0	0%	
⑤思わない	0	0%	
未記入	0		⇒「どちらとも」回答：第1回参加者/親について来た(10代女)

第2回参加者/たまたま通りかかった(市内20代女)

(12) 「古都祝奈良」をご存知でしたか：

①参加した	8	40%	①②計：認知 13名 / 65%
②知っていたが参加したことはない	5	25%	
③知らなかった	7	35%	
未記入	0		

(13) あなたが考える「地域（奈良市）の課題」とは、どんなことがありますか：

整理番号		* 記述10件全て	
1 「共に 食す」	①-6	40代男	お祭りの屋台が少ない。鹿 ゴミ問題かな？
	①-7	10代女	猫を守る。大事にする。
	①-8	40代女	団地清掃が高齢化で行いにくい。
	①-9	40代女	奈良在住ではないので分からない。
2 「拡大 食卓」	②-4	20代女	自転車のマナーの悪さ。
	②-5	30代女	地域の差と、狭間にいる人たち。
	②-6	40代男	どうしても文化を人質にして政治問題に使われてしまうこと。
	②-8	70代女	広報 おもしろい人を見つける 出会いの場があること。
	②-9	20代男	奈良市のことをまだよく分からないという問題。
	②-10	40代女	今日一緒にたき火をした方とのお話では、なかなか情報を得るのが難しとお話でした。

★今後「古都祝奈良」の情報提供を希望されますか

希望する	1	11%
希望しない	8	89%
未記入	11	

●その他ご意見・ご感想

* 記述 1 件全て			
1 「共に食す」	①-6	40代男	今年も来ましたよ。



「平田オリザの表現ワークショップ」参加者アンケート		アンケート回収合計：	35
◎日時：令和2(2020)年10月3日(土)		①午前の部 10時～12時 / 参加：20名(欠席3名)	参加合計
◎場所：ならまちセンター 多目的ホール		②午後の部 13時～15時 / 参加：15名(欠席2名)	35名

【属性】*申込フォームより… 応募者全体と当選参加者

性別：	応募者 全体	応募総数	女性	男性	不明
		124	99 81%	23 19%	2
	当選 参加者	参加総数	女性	男性	不明
		35	29 83%	6 17%	0

年代：	応募者 全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
		42 35%	8 7%	11 9%	22 18%	23 19%	6 5%	9 7%	0 0%	3
	当選 参加者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
		8 24%	2 6%	2 6%	10 30%	8 24%	1 3%	2 6%	0 0%	2

居住地：	応募者 全体	市外					県外			
		奈良市内	生駒市	大和郡山市	香芝市	橿原市	市外他	大阪府	京都府	県外他
		79 64%	10 8%	6 5%	4 3%	3 2%	6 5%	10 8%	2 2%	4 3%

⇒市外他内訳：生駒郡2、宇陀市、北葛城郡、葛城市、御所市 各1
⇒県外他内訳：三重県、和歌山県、愛知県、島根県 各1

当選 参加者	市外				県外		
	奈良市内	生駒市	大和郡山市	橿原市	大阪府	京都府	三重県
	20 57%	4 11%	2 6%	2 6%	5 14%	1 3%	1 3%

情報取得： (複数回答)	しみんだより	37	29%	⇒18人/50%が50代以上
	チラシ	24	19%	⇒12人/52%が10代 (近隣高校、奈演研にチラシを送付した)
	口コミ	28	22%	⇒21人/75%が10代
	公式HP	3	2%	
	フェイスブック	4	3%	
	ツイッター	5	4%	
	インスタグラム	1	1%	
	新聞	18	14%	⇒6人/33%が70代 (70代の6割が新聞で情報を取得)
	タウン誌・情報誌	0	0%	
	テレビ・ラジオ	0	0%	
	その他	6	5%	⇒その他内訳：庁舎内ポスター、メールニュース等
	未記入	14		

過去3回「口コミ」での情報取得が全体の約3割を占めて最も多かったが、今回初めて「しみんだより」が全体の3割を占めて一番の情報源となった。

【参加者】*アンケートより

(1) 職業：

①会社員	7	20%
②公務員	1	3%
③自営業	2	6%
④会社役員	1	3%
⑤自由業	2	6%
⑥家事専業	3	9%
⑦無職	3	9%

⑧大学生	2	6%
⑧高校生	6	17%
⑧中学生	1	3%
⑨パート・アルバイト	5	14%
⑩その他	2	6%
未記入	0	

⇒その他内訳：大学教員1、教師1

(2) 演劇活動(裏方含む)のご経験はありますか？

①現在やってる	9	27%	①②計：演劇経験者
②過去にやっていた	6	18%	15名 / 45%
③演劇経験無し	13	39%	③④計：演劇経験者ではない
④演劇経験無・WS有	4	12%	17名 / 52%
⑤その他	1	3%	⇒⑤：「声だけ経験あり」
未記入	2		

(3) このWSへの参加理由は？

*記述：35名より抜粋		
アンケート No.	内容	コミュニカ向上8名、表現力向上5名、平田氏への興味関心5名、演技力向上5名、 仕事・研究への参考4名、イベントへの興味4名、勧められて4名
2	・表現することに興味がある。	
4	・学会で平田氏の講演を聞いて、どのようなWSをされるのか興味があった。	
6	・自分の仕事(介護)の気づきを得ることができると考えた。	
7	・20代の頃平田氏の著書を読んですごく共感する部分があった。コミュニケーションには日々悩んでいるため何かヒントがあったり、能力が向上するかもと思った。	
8	・教育研究として「表現」をテーマに現在大学院にて研究をしているため。	
10	・自己表現を学ぶことはコミュニケーション力にも繋がる。WSがどんな内容かにも興味があった。	
11	・映画制作の参考。	
13	・コミュニケーション、自己表現に対して難しさを感じていて、何かヒントになるものを得たかった。	
14	・社会人を経て現在看護学生をしている。学校、職場での人間関係に悩み著書「わかりあえないことから」を読んで、WSはないかと探していて、これを見つけて応募した。	
17	・自分の演技力、表現力を高めるため。	
18	・普段の自分ではない自分を見つける、演じる、を体験したかった。	
21	・子ども達と関わる仕事の為、コミュニケーションのバリエーションを広げたいと思った。	
23	・平田さんのWSに興味があった。表現のカタチは色々あるけれど、芯になるカタチがあれば学びたい。	
25	・高校生の娘が友人とのコミュニケーションに悩んでいる。本人が来れないので私が学びたかった。	
27	・自分の感情を表現するのが苦手なので参加させていただきました。	
28	・学校の先生、部の先輩にすすめられて。	
32	・コミュニケーションへの関心があり、よりよい人間関係、モチベーションUPのヒントを得たいため。	
33	・演劇メソッドでコミュニケーションのヒントをつかむという言葉に惹かれました。 “他者とのイメージの共有”は日頃の生活の中でその難しさに悩みます。自分が求めていることができ ない相手にイライラすることも多く、また自分も相手に上手く伝えられず落ち込むことも。 コミュニケーションはいくつになっても課題です。でも楽しいもの！と思います。	

(4) ご感想は？

①大変良かった	28	80%	①②計：肯定的
②良かった	7	20%	35名 / 100%
③どちらともいえない	0	0%	③④⑤計：否定的
④あまり良くなかった	0	0%	
⑤良くなかった	0	0%	
未記入	0		

*記述：28名より抜粋

アンケート№	内容
1	・もう少しゆっくり聞きたかった。
5	・言葉のあるところには、どこであっても文脈を読み取る事が重要であることを再確認した。
7	・平田さんの著書の内容を思い出しながら、さらに深い見地・洞察に触れることができた。 特にコンテキストの話、コミュニケーション能力は個人よりその場面の問題もあることなど。
8	・今は奈良に住んでいませんが、今日のWSを受け、自分が今していることは確かなものなんだ！と実感することができ、やはり生まれ育った奈良が導いてくれるものは大きいと感じました。
10	・学校や医療現場、社会の中で自分と立場の異なる相手と共感したり、共通点を見つける力を育む重要性を改めて認識しました。
11	・座学で紹介していたものを、体を使うワークショップでやってみたい。
12	・学校では教えてもらったことがない。あったとしてもよく覚えていないが、受け身ではなく参加して学べるので退屈しなかった。
14	・日常でもなぜずれが生じるのか悩んでいた。今日はその理解やどうすることが必要かを学べた。今コロナで孤立した高齢者が多くなっている。孤立、孤独や支援を求められない人をどうみつけ支援するかを考えようと思った。
15	・平田先生の経験談をふまえた分かりやすい内容だった。日常生活レベルで共感と同化を混ぜてしまいやすいので、どういう背景でその言葉を行動しているのか？と考えるようにしたい。
18	・コミュニケーションに対する思い込みと可能性に気付けた。オリザさんのコミュニケーションの育て方、見つけ方に感銘を受けた。
23	・コミュニケーションの取り方を、言葉、身体を使う方法が新鮮で日常でも活用できると思った。
31	・平田先生の事は初めて知った。どうして演劇に興味を持たれたのかも知りたいと感じた。 解りやすく丁寧で、参加出来たことが嬉しく、よい時間を頂けた。ありがとうございました。
32	・もっと深く（長い時間）おききしたかった。自分で振り返りをして今後につなげたい。
33	・気がきが沢山あった。演劇で知らない世界を演じてみたいと思った。小学校教育に全国で義務化してほしい。

(5) このワークショップを誰かに勧めたいと思われませんか？

①とても勧めたい	24	73%	①②計：肯定的
②勧めたい	9	27%	33名 / 100%
③どちらともいえない	0	0%	③④⑤計：否定的
④あまり勧めたくない	0	0%	
⑤勧めたくない	0	0%	
未記入	2		

(6) 同様のワークショップに再度参加したいと思われませんか？

①とても思う	23	72%	①②計：肯定的
②思う	9	28%	32名 / 100%
③どちらともいえない	0	0%	③④⑤計：否定的
④あまり思わない	0	0%	
⑤思わない	0	0%	
未記入	3		

(7) ワークショップに参加する前と後で、ご自身の心境に変化などありましたらお教えてください。

* 記述：32名 より抜粋	
アンケート 図	内容
2	・気持ちが自由になった気がします。
4	・社会的弱者へのエンパシーを意識したいと強く思った。相手のコンテクストを理解したコミュニケーションを大事にしたい。
8	・自身が今研究していることと繋がるヒントが沢山ありました！ 大変勉強になりました！
9	・他者理解へのお話に心がうるおう感じになりました。
12	・あまりまじめに考えすぎないようにと思った。人の話を聞く力、説明する力って大事だし、やはり場数（演じる数）、慣れだと思った。考えすぎず、実行すること。
15	・映画や本に出て来る台詞の背景に注目してみたい。
17	・コミュニケーションに対する考えが変わりました。
18	・自分という枠が広がった。可能性が広がった。好奇心や、やってみたいや知りたいが出てきた。日本人の在り様と課題。
19	・特になし。
23	・ものごとを一方的でなく多角的にみていくヒントをもらった。心が軽くなったような気がする。
24	・普段の仕事や生活の中におとしこんで実践していきたい。
27	・気持ちを察するだけでなく他者を認め分かりやすく自分の気持ちを説明することも大事と思う。
31	・わからないままお誘いがあり当選しましたが、参加したことでより人間がどう生きるのか演劇を通して人間力を養うよい気持ちが芽生えたように変化しました。
32	・相手の意図を汲み取る、カウンセリングにも通じる感情理解から関係性を深まる、事が理解でき実践していきたい。周りの方に伝え、仕事や家庭で生かしていきたい。
35	・自分が楽しむだけのために演劇をしていましたが、一つの文だけでもどんなに大切なものかとか演劇の良い効果を心に残してもっと良い作品を作りたいと思います。

(8) 奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」（平成29/2017年度より開始）をご存知でしたか？

①参加した	2	6%	①②計：認知
②知っていたが参加したことはない	9	29%	11名 / 35%
③知らなかった	20	65%	
未記入	4		

(9) 奈良市アートプロジェクトでは地域の課題についてアートを通じて考える機会を実施しています。
 あなたが考える「地域（奈良市）の課題」とは、どんなことがありますか？

* 記述：22名 全て	
2	・子育て環境
4	・大仏商売？
5	・華やかさを欠くがだからと言ってとってつけたような派手な祭りとかを行うのにも違和感を覚る。
6	・歴史にちなんだイベントがもっとあっても良いと思う。再現・演劇をそのあった場所でやるなど。
8	・より原点に立ち返って、奈良ならではの歴史を一人ひとりがもっと知ること。
9	・助け合い
10	・近隣府県に比べて若者が一日遊べるような施設が少ない。ジムやプールなどの住民が安く使える施設もどんどんなくなり駐車場に変わっているので、子どものいる家族が住みづらい地区も増えている。産業も少ないので仕事も少ない。
12	・奈良にしかないもの、まだ残っている良いものを生かせないか？
13	・奈良市が芸術的なことに力を入れているのを全く知らなかったです。
15	・日常生活での世代の壁をとばらったコミュニケーション。
16	・自分の住む場所をもっと知ってもらえるようにアピールする。
17	・もっと積極的にコミュニケーションをとること。
18	・3月に越してきたのでまだ見つかりません。
19	・奈良市中心外への興味・関心の振り向け。
20	・向こう三軒両隣が知合い仲良くする。自分のできることを活かして地域に貢献。自分も周りも幸せになる、徳をする。
21	・道路の整備。住宅地。新しく山などを切り開いて作るのではなく、古家、空き家などの利用。
24	・閉鎖的なところ。
27	・人とのつながり。引きこもりがちの方や高齢者の方等。
28	・就職時に県外に出ていく。
29	・奈良の良さ（歴史、受け継がれている技術・技能）があまりアピールされていない。
30	・実際に体験できるところが少ない。
34	・高齢者がどんどん増えていくので参加出来る機会を作って欲しいです。

★今後「古都祝奈良」の情報提供を希望される方は空メールを送信ください。

情報提供希望メール	0
-----------	---

●その他ご意見・ご感想

* 記述：0名	

以上



